

マンガでわかる
英語がスッと出てくる

新感覚英会話

補足練習問題

練習問題1 SVを英語の発想で決める

例えば以下の日本語文と同じようなことを英語で言う場面があったと想像してください。あなたならどのように言いますか。

1. 今日日本で急速に増え続けている病気は乳がんです。
2. パソコンは苦手だ。
3. この国に原発は必要ない。

<回答>

1. 日本で急速に増え続けている病気は乳ガンです。
日本語の発想で、病気を **subject** にしないことです。病気は何もしませんが、**subject** はするヤツです。動詞から決めましょう。have (hay fever), subject は many women
Many women have breast cancer in Japan.
増え続けている、というニュアンスをどうしても出したいなら、many women とする代わりに、more and more women とすればいいです。have より動的な get を使うとよりいいでしょう。
More and more women are getting breast cancer in Japan.
2. パソコンは苦手だ。
パソコンは何もしないので **subject** にするのは避けましょう。イメージして動詞を決めると、use でいいでしょう。subject はもちろん I
I can't use PCs very well.

I'm not good at using PCs.

としてももちろん構いません。

3. この国に原発は必要ない。

原子力発電所は a nuclear power plant、でもそれを subject にはしません。

動詞は need でいいでしょう。subject は自分も含めた国民です。

We don't need nuclear power plants in this country.

練習問題2 ワンセンテンスシンドローム

以下の英文は全てワンセンテンスシンドロームの症状が見られます。特に to-不定詞依存症状のあるおかしい英文です。あなたならどのように言いますか。

1. I'm careful to get on the train. (注意して電車に乗る。)

2. I'm very tired to work and look after my child.

3. I can't stand my husband to use my toothbrush.

4. (Challenge)

Using a smartphone while walking makes me angry.

<回答>

1. I'm careful to get on the train. (注意して電車に乗る。)

これは意味不明です。電車に乗るのは難しくて、少しでも気をぬくと乗れない。2～3秒しか停車しないと。そういう意味でしょうか。to-不定詞を使わず、when を使いましょう。

I'm careful when I get on the train.

(さらに、because you could fall into the gap between the train and the platform. と付け加えると、よりわかりやすいですね。人に注意するときは“Be careful.” という代わりに“Watch your step.” などとも言えますね。)

2. I'm very tired to work and look after my child.

これも to-不定詞を使ったワンセンテンスシンドロームですね。

I have to work and look after my child every day. So, I'm always tired.

このように時系列に従って、二つの文にした方がはるかに自然でわかりやすいです。

3. I can't stand my husband to use my toothbrush.

can't stand を我慢できない、という意味で使うときの対象物を my husband to use my toothbrush と to-不定詞を使って無理やり名詞句にした感じですね。when という接続詞を使って、SV を 2 回言えばもっと楽です。

I can't stand it when my husband uses my toothbrush.

4. Challenge

さて、次も SV を無視したワンセンテンスシンドロームの例ですが、これが分かれば本物です。

Using a smartphone while walking makes me angry.

(歩きスマホには頭にくる。)

“Using a smartphone while walking”(歩きスマホ)が subject で一見問題ないようですが、これが SV を無視しているのは、using の意味上の subject が示されていないからです。示していないということは、この文中に出てくる、唯一の“するヤツ”になり得る me が using の意味上の subject です。自分が歩きスマホをしていることに頭にくる、ということです。文を分けましょう。

When I see people using their smartphones while they are walking, it makes me angry.

練習問題 3 直訳中毒

以下のようなことを言う場面では英語ではあなたはどのように言いますか。日本語にこだわらなければ簡単です。

1. このバターは賞味期限切れだ。
2. John は運動神経抜群。

<回答>

1. このバターは賞味期限切れだ。
expiration date という表現を知っていれば、

This butter is past its expiration date. あるいは This butter is already expired.

と言えばいいですが、そんな表現を知らなくても、

This butter is old. This butter is not fresh.

でも伝えたいことは伝わります。

2. John は運動神経抜群。

運動神経と言おうとして、**exercise nerve** とおっしゃった方がいらっしゃいました。それでは通じません。和英辞典で調べれば、色々出てくるでしょうが、おそらく医学用語であり、私たちが日常会話で使うような感覚では使いません。

John plays sports very well.

ぐらいは言えそうです。私なら、

John is quite an athlete. あるいは John is athletic.

練習問題 4 Be 動詞依存症

以下の例文は be 動詞依存症の症状が見えます。どこがおかしいか考えましょう。

1. Bill and I are good relationship.
2. Japan is now cherry blossom season.

1. Bill and I are good relationship.

relationship は名詞ですから、この be はイコールです。

Bill and I は人ですね。人は relationship にはなりません。

また relationship がちょっと直訳中毒気味ですね。

Bill and I are good friends. あるいは ;

Bill is my nice neighbor. I like him very much.

2. Japan is now cherry blossom season.

これを英語と思わず、英単語を使った日本語だと考えると理解できます。

「日本は今さくらの季節です。」

season は名詞ですから、この be もイコールです。国である日本が季節とイ

コールになるはずがありません。“何かするヤツが何かする”の発想なら、

We can see beautiful cherry blossoms everywhere in Japan now.

あるいは少し語彙力がつけば、

Cherry blossoms are blooming all across Japan now.

としてもいいですね。